

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)
	再評価 時点 H15	佐志川 広域一般河川改 修事業 事業主体：県 事業地：唐津市	流路是正、狭窄部解消を行 い、治水安全度を向上し、 流域の浸水被害の軽減を 図る。 計画流量 150m ³ /s 計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=31.7億円 工期：S58~H20 改修延長：L=2,900m 計画流量：150m ³ /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管8基、橋梁6 基、堰2基	国道関連および下流の 工区について、河床掘 削を残して改修が完了 している。 現在中流部の橋梁架替 を実施し、用地買収の 促進を行っているところ である。 佐志橋他1基完成 (H14末進捗率 49%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.4%)	(過去の災害実績) S60.6 浸水戸数 189戸 農地浸水面積 20ha (地域の状況) 国道204号佐志バイパスの一部 が完成し、共用開始した。	事業採択時と比 較し、費用対効果 の要因の大きな 変化はない。 現在(B/C) 2.5	(コスト削減策) ラバー堰の積極的 採用を行う等によ りコスト削減を図 る。	再評価実施後 5 年が経過	継続
	現時点 H20	総合流域防災事 業		前回評価時より事業費 が増額となった。 全体事業費：C=42億円 工期：S58~H33 改修延長：L=2,900m 計画流量：150m ³ /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管8基、橋梁6 基、堰2基	水洗橋下流について は、河床掘削を残して 改修が完了している。 現在、水洗橋付近の改 修を実施し、水洗橋よ り上流工区の用地買収 の促進を図っているところ である。 佐志橋他1基完成 (H19末進捗率 54%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.2%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 国道204号佐志バイパスの一部 が完成し、共用開始している。	最新のマニユ アルに基づき、費用 対効果(B/C)を 算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等 被害額等 B=12,950百万円 総費用額 C=6,086百万円 現在(B/C) 2.1	(コスト削減策) ラバー堰の積極的 採用を行う等によ りコスト削減を図 る。	再々評価実施後 5年が経過	平成60年等の 洪水被害を軽 減するため、流 路是正、狭窄部 解消を行い、治 水安全度を向 上し、地域住民 の安心・安全を 確保するため には、当事業の 継続が必要で ある。
	理由等			<ul style="list-style-type: none"> 鋼材単価の高騰による 工事費の増。 河川構造物の耐震検討 に関する新たな指針に よる構造物の検討費用 及び工事費の増。 自然環境に配慮し、石 張護岸を採用したが、他 事業との調整がつかず、 石材の新規購入費がか かり工事費が増となっ た。 河床掘削土の運搬距離 増による処分費増。 行財政改革等の予算縮 減を受け年度事業費が 減となったことによる 工期延長。 						

